

I 小学生すくすくテスト結果について

令和3年度（2021年度）大阪府新学力テスト（小学生すくすくテスト）の豊中市全体の結果についてお知らせします。

1. テスト及びアンケート結果の公表

（1）大阪府教育委員会の基本方針

テスト及びアンケート結果については、本テストの趣旨・目的を達成するため、適切に取り扱うものとし、公表にあたっては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、児童等への影響を十分配慮し、各学校の教育活動に支障を及ぼすことのないようにする。

（2）本市の基本方針

本市においては、本テスト及びアンケートの趣旨・目的に基づき、児童の豊かな学びに向けた教育の充実をさらにすすめていくため、分析結果の公表のあり方などについては、次のように示すこととしました。

- ① 本テスト及びアンケートは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的としていることを踏まえ、平均点などの数値のみの公表ではなく、教科問題や教科横断型問題、児童アンケートの内容や今求められる学力などの視点から児童の強みや課題、観点別に分類し、教育・指導の充実につながる結果・分析の公表とする。
- ② 公表に際しては、教科問題や教科横断型問題に関する設問・観点別の数値、児童アンケート（生活習慣、「未来に向かう力」「好奇心」、学校生活・学習状況等に関する質問）の数値を公表するとともに、教科問題や教科横断型問題結果と児童アンケート結果との関係を分析し、特徴的な状況等を公表する。

2. テスト及びアンケートの概要

（1）目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけること。

（2）実施期間 令和3年（2021年）5月26日（水）～6月1日（火）

（3）対象学年・参加児童数

府内市町村立小学校第5学年、第6学年の全児童

（本市立小学校の参加児童数 第5学年 3,653人 第6学年 3,618人）

(4) 実施内容

① 教科問題、教科横断型問題

- ・第5学年は、国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）
- ・第6学年は、わくわく問題（教科横断型問題）
- ・出題範囲は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）」に示された内容で、各学年とも原則として前学年までの学習内容とする。
- ・教科問題については、当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等とする。
- ・教科横断的な問題については、特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断の根拠や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等とする。
- ・出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式とする。

② 児童アンケート

児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等のアンケートを実施。

3. 豊中市の結果について

(1) 5年生教科問題結果の概要

■国語について■

文中の誤った助詞に気づき、適切なものを書き直す問題や二つの文の意味のつながりを考え、適切な接続表現を使って一文に書き直す問題、ことわざの意味理解については大阪府と比較して正答率が高くなっています。一方で、文脈に沿って正しく言葉の意味を理解し、提示されている語句の対義語を選択する問題では、正答率が低くなっており、課題が見られます。

■算数について■

長方形の縦と横の長さから周りの長さを求める問題や2つの数量を比べる際の倍の意味を問う問題など、知識・技能を問う問題において大阪府と比較して正答率が高くなっています。一方で、ともなって変わる2つの数量の関係を理解し、言葉や式で表現することに課題が見られます。

■理科について■

方位磁針の正しい使い方や地面の温度の測り方など観察、実験などに関する知識・技能の項目において大阪府と比較して正答率が高くなっています。また、磁石の性質や物の性質など物質・エネルギーに関する知識・技能の項目においての正答率も高い結果となっています。全体的によくできていますが、知識・技能と比べると、思考・判断・表現にあたる項目の自分の考えを書く問題の正答率が若干低い傾向が見られます。

(2) 5・6年生教科横断型問題結果の概要

■わくわく問題(教科横断型問題)について■

図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を正しく理解し、自分の考えを持ち伝える観点や興味・関心のある事गरらについて、意欲的に工夫して相手に伝えようとする観点において、大阪府と比較して正答率が高くなっています。一方で、理由や根拠を明確に整理して説明することや、自身で考えたことを伝えることに課題が見られます。また、わくわく問題は5年生と6年生に同一問題で実施されました。学年比較では、5年生と6年生間で平均10ポイント程度の差が見られました。学年が進むにつれて、社会に関心を持ち、自分の考えを持つことができていると考えられます。

(3) 児童アンケート結果の概要

「朝食を毎日食べている」、「ふだん(月曜日から金曜日)1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」、「ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか」「難しいことがあっても、あきらめない」、「自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわかろうとする」、「はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える」「黒板に書かれたことをノート等に写している」「話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている」のアンケート項目で肯定的な回答した児童の割合と教科問題・教科横断型問題の平均正答率と正の相関関係(※)がありました。

(※)2つの項目の間の何らかの関係性のこと。因果関係を示したものではありません。

4. 結果の公表について

豊中市教育委員会事務局のホームページに結果概要・報告を掲載することで広く情報発信し、保護者・市民の皆さんと成果や課題の共有を図っていきたいと考えます。

関連ホームページ

● 大阪府 w e b サイト

「小学生すくすくウォッチ」

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/sukusuku/index.html>

「令和3年度 すくすくウォッチ - 問題・解答(例)について -」

https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/sukusuku/r3_monndai.html

● 豊中市 w e b サイト

「令和3年度(2021年度)「小学生すくすくテスト」豊中市の結果概要」

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kyo_iin/gakkodukuri/2021sukusuku.html